



【豊見城】大学上級の英語力が必要とされる実用英語検定試験(英検)1級にこのほど、豊見城市立上田小学校5年の大田怜子アンさん(11)＝同市豊見城Ⅱが初挑戦で合格した。日本英語検定協会によると、1級は読解力や時事問題の知識も求められる、小学生の合格は全国でもまれだという。

沖縄で生まれ、1歳から小学3年の前半まで米国ロードアイランド州に住んでいた大田さん。母・文子さんの古里に戻った大田



初挑戦で英検1級に合格し、笑顔を見せる大田怜子アンさん
＝30日、豊見城市立上田小学校

快挙!小5英検1級

豊見城・上田小 難関初挑戦で
大田怜子アンさん

さんは英検準1級を持つ母親の勧めもあり、3年生で2級、4年生で準1級に合格した。本が好きで月に60冊読むといい、3年生の時に原書で「ハリーポッターシリーズ」を読み切った。

昨年10月に1級の筆記試験、11月に面接試験に臨んだ。面接では「戦争について」をテーマに1分間スピーチ。沖縄戦の体験者の話を基に「民間人や子どもたちを巻き込む戦争はやらない方がいい」と話した。

初挑戦での快挙に「最初は冗談かとも思った。お母さんに勝つてうれしい」と喜ぶ。「6歳から乗馬をやっていて馬が好き。バイリンガルの乗馬インストラクターになりたい」と夢を膨らませる。

大田さんが受験した回は全国で2416人が1級に挑んだ。合格者は349人で、うち小学生は15人だった。